

病害虫発生予察情報 9月予報 概要版 (令和7年9月8日発表)

群馬県農業技術センター発生予察係 (病害虫防除所)

★9月4日発表 気象の1か月予報 (気象庁発表)

平均気温は高い確率80%、降水量は少ない確率50%、日照時間は多い確率50%です。

★9月の病害虫予報 注目ポイント！！



イネ イネカメムシ . . . 発生量：やや多い

現在までの発生量はやや多いです。

発生量が増加しやすい高温・少雨の気象が予報されています。

薬剤による防除適期は、出穂期と出穂期から8日後頃です。



イネ 斑点米カメムシ類 (イネカメムシを除く) . . . 発生量：やや多い

現在までの発生量はやや多いです。

発生量が増加しやすい高温・少雨の気象が予報されています。

イネの出穂期2週間前以降の除草は、被害に繋がりますので控えましょう。



イネ 紋枯病 . . . 発生量：やや多い

現在までの発生量はやや多いです。

発生量が増加しやすい高温の気象が予報されています。

高温・多湿で、病斑が高い位置に進展したら薬剤による防除を行いましょう。



野菜・花き類 オオタバコガ . . . 発生量：やや多い

フェロモントラップへの誘殺数は7地点中4地点で平年より多いです。

発生量が増加しやすい高温・少雨の気象が予報されています。



果樹類 ハダニ類 . . . 発生量：やや多い

現在までの発生量は平年並～やや多いです。

発生量が増加しやすい高温・少雨の気象が予報されています。

発生量が多くなると防除が困難になるので早期に発見・防除を行いましょう。



ネギ シロイチモジヨトウ . . . 発生量：やや多い

フェロモントラップへの誘殺数は2地点のうち1地点で平年より多いです。

発生量が増加しやすい高温の気象が予報されています。



夏秋ナス ハダニ類 . . . 発生量：やや多い

現在までの発生量はやや多いです。

発生量が増加しやすい高温・少雨の気象が予報されています。

発生量が多くなると防除が困難になるので早期に発見・防除を行いましょう。

その他の病害虫は裏面へ →

【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	発生量	特記事項
作物全般	アブラムシ類	並	各種トラップ調査による有翅アブラムシの飛来数は平年並。
イネ	いもち病 (穂いもち)	並	現在までの発生量は平年並。 葉いもちの発生量も平年並であるが、穂いもちが増加する場合があるので注意する。
	もみ枯細菌病	並	現在までの発生量は平年並。
	ヒメトビウンカ	並	現在までの発生量は平年並。 イネ縞葉枯病感受性品種栽培地帯では、イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率を低減するため、収穫後は速やかに耕起し、ひこばえを発生させないようにする。
ダイズ	吸実性カメムシ類	やや多い	現在までの発生量は平年並であるが、一部地域でやや多い。 ほ場をこまめに見回り、適期に防除を行う。
果樹全般	カメムシ類 (チャバネアオカメムシ)	やや少ない	フェロモントラップ調査による誘殺数は平年並～やや少ない。 餌のヒノキ・スギ球果が不足した時に飛来する可能性がある。 園内をこまめに見回り、飛来を認めたら早急に防除を行う。
リンゴ	斑点落葉病	並	現在までの発生量は平年並。 高温多湿条件で発生しやすく、連続した雨など短期間の気象条件で急増することがある。
ナシ	ナシヒメシンクイ	並	現在までの発生量は平年並。 フェロモントラップ調査による誘殺数は一部の地点でやや多い。
ダイズ 野菜類 花き類	ハスモンヨトウ	並	現在までの発生量は平年並。 フェロモントラップ調査による誘殺数は一部の地点で多い。 高温条件で発生が助長されるため注意する。
キャベツ	黒腐病	並	現在までの発生量は平年並。 やや低温で降雨が多いと発生が助長されるため注意する。
	菌核病	並	現在までの発生量は平年並。 発生適温は15～20℃。多湿条件で発生が助長されるため注意する。
	コナガ	並	現在までの発生量はやや少ない。 ほ場をよく見回り、若齢幼虫のうちに防除を行う。
ネギ	軟腐病	並	現在までの発生量は平年並。
	ネギアザミウマ	並	現在までの発生量は平年並。
レタス	軟腐病	並	現在までの発生量は平年並。



詳しい予報、注意報、病害虫情報はこちらから

(病害虫発生予察情報一覧へリンク)

トラップデータデータも毎週更新中！！

(<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>)

★ 9月30日まで群馬県農薬危害防止運動を実施中です。

本年度のテーマ：「使用前、周囲よく見てラベル見て」